
「硝子体手術後の眼内レンズの位置の変化」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年4月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、硝子体手術をお受けになり前眼部OCT検査を施行された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

眼内レンズは術後に安定するまで眼内での位置が変わるといわれております。特に硝子体手術ではその変化量が通常より大きくなる可能性があります。眼内レンズの種類によってその大きさや傾向が異なる可能性があります。各眼内レンズによる変化量を調査する目的で本研究を施行いたします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年2月19日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

視力、眼圧、眼軸長、前房深度、病名、眼内レンズの種類、術式名、前眼部解析の結果

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である吉川祐司が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

硝子体手術を施行された患者さんの検査を実施した際に生じた診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者 埼玉医科大学病院 講師 吉川祐司

研究分担者 埼玉医科大学病院 教授 篠田啓

埼玉医科大学病院 准教授 蒔田潤

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

担当者 埼玉医科大学病院 眼科 吉川祐司

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1295（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：硝子体手術後の眼内レンズの位置の変化

○研究責任者：埼玉医科大学病院 眼科 吉川祐司